人体発生学
【Human Embryology】

担当責任者 教授（第2解剖学） 森本 景之

ねらい

ヒトの一生の始まりから出生前後の発生・発育中に起こる一連の変化（成長・形態形成・分化）について理解し、人体の各細胞、組織、および器官の間にいかにして正常な関係が成立していくかに関する基礎的な知識を習得する。また、発生の異常を起こす可能性のある遺伝的要因および環境要因についても理解する。

学修目標

1. 生殖細胞の成熟過程を説明することができる。（Ⅱ-2）
2. 排卵から着床までを説明することができる。（Ⅱ-2）
3. 胚盤の形成過程を説明できる。（Ⅱ-2）
4. 各胚葉の分化過程を説明することができる。（Ⅱ-2）
5. 各胚葉に由来する器官・組織を列挙し、それぞれの形態形成過程を説明することができる。（Ⅱ-2）
6. 遺伝子と発生の異常がもたらす奇形・病態を説明することができる。（Ⅱ-2）

事前事後学習の方

1. 事前学習として、教科書等で講義・実習の該当箇所に目を通す。
2. 事後学習として、講義プリント等を用いて、到達目標を達成する。

成績評価方法・基準

1. 小テスト（全4回）の結果を基に、出席状況、受講態度を加味して総合的に判定する。
2. 100点満点換算で、A、B、C、D、Fの5段階評価とする。

○ 教 科 書

藤本十四秋、受島敦美著「医学要点双書 発生学」改訂第6版、2010年（金芳堂）

○ 参 考 書

下記は臨床医学の見地から書かれた定評ある成書であり、高学年や卒業後においても、発生学を学ぶ際に活用できる参考書として推薦する。

1. 瀬口春道監訳「ムーア人体発生学」原著第11版、2022年（医歯薬出版）
2. T.W.Sadler著、安田峯生訳「ラングマン人体発生学」第12版、2024年（メディカル・サイエンス・インターナショナル）

また、下記はコンパクトにまとめられた参考書として推薦する。

3. 山田重人、山口 豊著「ひと目でわかる ビジュアル人体発生学」、2022年（羊土社）

2 年 次

講義:2301講義室

年 月 日	曜 日	時 限	授 業 項 目 (内 容)	コアカリ項目				担 当 者
				第1層	第2層	第3層	第4層	
R7.4.2	水	3･4	発生学とは 生殖子形成～着床 胚盤形成 胚葉の分化	PS	01 02	02 11	22 01	森本 景之
4.4	金	3･4	胚子 胎盤形成	PS	01 02	02 02	22,26 01	森本 景之
4.9	水	3･4	小テスト 循環器系の発生 胎児循環	GE PS	03 01	03 02	01 24	森本 景之
4.14	月	3･4	消化器系の発生	PS	01	02	25	森本 景之
4.18	金	3･4	小テスト 泌尿生殖器･呼吸器系の発生	PS	01	02	24,25	森本 景之
4.21	月	3･4	神経･感覚器系の発生	PS	01	02	26	國分 啓司
4.23	水	3･4	小テスト 頭部顔面と咽頭器官の発生	PS	01	02	23	中富 満城
4.25	金	3･4	小テスト 新生児、先天奇形、遺伝子疾患、補足	GE PS	03 02	03 01	01 01	森本 景之